

(様式第8号)

**長野県みらい基金 信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書**

2025年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者

所在地: 長野県諏訪市中州上金子2843

団体名: 特定非営利活動法人子どもサポートチームすわ

代表者職氏名: 理事長 小池 みはる

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

不登校の子どもが主体的体験を通してコミュニケーション力・自立心を養うフリースクール

2 助成対象事業の実施期間

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

3 助成対象事業の内容

- ・体育館で運動機会の確保をしバスケットボールやバドミントンをやりました。
- ・講師を招いてフットサル体験講座を開きました。
- ・美術講座を行い、デッサンの書き方、色彩の使い方・効果を学び、美術館に展示することを目標に絵を描いています。
- ・商品デザイン講座を行いました。岡谷蚕糸博物館のお土産として栞のデザインを考えて、館長さんや職員の人に自分たちでプレゼンを行い、陳列しました。
- ・キャリア教育は講師の方の日程と、こちらの日程がうまく合わず実施できませんでした。

4 事業の成果

水曜日に美術講座を全14回行い各回、約6人参加し、それぞれに絵を描きました。自分たちの書きたい物を考える中で、自分を見つめ直す時間となりました。作成時間や美術館との調整で6月辺りに展示の予定。また、VRでの展示も検討中。

商品デザインでは、制作に入る前に博物館の見学、蚕糸工場の見学、お土産売り場で事前調査を行ってから商品制作に入りました。調査結果を踏まえて自分たちでどんなニーズに答えたデザインにするか話し合いを行って、デザインを作りました。

売れる物を真剣に考え、作ることは子ども達に良い経験となりました。

毎月1回体育館を借りてバスケやバドミントンなどスポーツを楽しみました。フットサルを教えられる人とご縁があったのと、サッカーをやりたい子がいたのもありフットサル講座を始められました。

(様式第8号)

5 助成対象事業の実施状況を示す書類(添付)

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分		金額(円)	内 訳
収 入	① 本助成金	237080	
	② 自己資金	118375	団体自己資金
	会費、事業収入、 寄付金など		
	③ その他 補助金等		
収入合計		355455	(A)
支 出	助成対象経費	講師謝金	318000 美術講座 講師謝金(10月～3月)
		会場費	730 4月体育館使用料
		会場費	840 5月体育館使用料
		会場費	840 6月体育館使用料
		会場費	840 7月体育館使用料
		会場費	840 9月体育館使用料
		会場費	840 10月体育館使用料
		会場費	840 11月体育館使用料
		会場費	840 1月体育館使用料
		会場費	1460 2月体育館使用料
		会場費	1460 3月体育館使用料
		消耗品費	12441 フットサル用ボール、バドミントンラケット
		講師謝金	4200 フットサル講師謝金
		交通費	10556 美術講師 交通費
		交通費	728 フットサル講師謝金
		計	355455 (B)
	助成対象外経費		
		計	0 (C)
	支出合計	355455	(B) + (C) = (A)

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物(チラシ・リーフレット等)がある場合には、別途送付してください。

